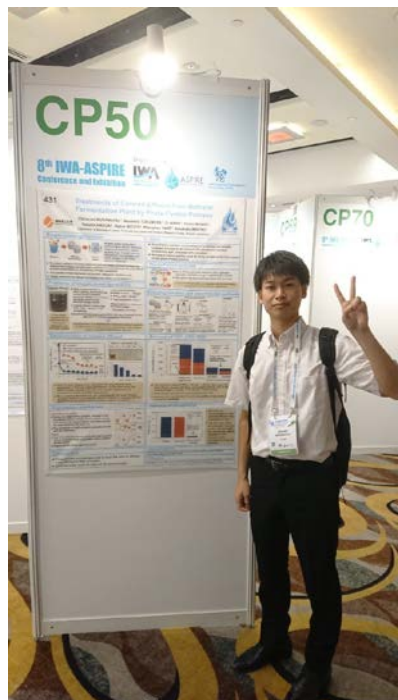


8th IWA-ASPIRE Conference and Exhibition 2019 にてポスター発表

2019年10月31日から11月2日に香港の湾仔区で開催された8th IWA-ASPIRE Conference and Exhibition 2019に参加した。本学会は、アジア太平洋地域の水問題及びその解決策について、産官学の専門家が集結し議論を深めることを目的として、IWA 世界会議と交互に隔年で開催されている。今回、私は Treatment of Colored Effluent from Methane Fermentation Plants by Photo-Fenton Process (フォトフェントン反応によるメタン発酵施設からの着色排水の処理) という題目でポスター発表を行った。メタン発酵施設は、食品廃棄物などをメタン発酵することでバイオガスや液体肥料といった有価物を回収することができる。しかし、メタン発酵する際に、難生分解性物質が多く含まれる着色排水が排出される。そのため、一般的に使われている活性汚泥法では処理が困難である。そこで、促進酸化法 (AOP 法) の1つであるフォトフェントン反応を用いて、着色排水を効率的に処理した結果を発表した。

今回、初めての海外での国際学会ということで緊張したが、海外の研究者との英語でのディスカッションは貴重な経験となった。いくつか質問に答えられたこともあったが、一方で、前もって準備していた英語だけでは、その場の質問に対して、自分の意見を伝えられないということを感じた。この悔しい経験をもとに、今以上に語学勉強に力を入れていきたい。



薬食生命科学総合学府 環境科学専攻
博士前期課程2年 物性化学研究室 村松孝亮